

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園 みなとみらい	種別：保育所
代表者氏名：園長 吉田 光代	定員（利用人数）：90名
所在地：〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-7 MMミッドスクエア3階	
TEL：045-350-9308	ホームページ： <a href="https://www.like-kn.co.jp/academy/establishment/nijiuro/minatomirai/index.html">https://www.like-kn.co.jp/academy/establishment/nijiuro/minatomirai/index.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2008年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 19名 非常勤職員： 7名
専門職員	（専門職の名称）
	保育士 19名 看護師 1名
	栄養士 4名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室6・ホール1・室内プ ール1・教材室1・給食室1 乳児室トイレ1・幼児トイレ2・誰でも トイレ1

## ③理念・基本方針

## ■保育理念■

『のびやかに育て だいちの芽』

## ■保育方針■

みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛

信頼 安定 共感

あたたかいまなざしに見守られ みつめられ 心地良く安定した心

人を信じ尊重し 自分のことも友達のことも 好きといえる みとめあう心

ひびきあい 共感しあい 喜びと自信をもって たくましく生きていける心

## ④施設・事業所の特徴的な取組

・指先を使った微細活動ができるように、保育士が年齢に合った素材（シール貼り、紐結び、紐通し、スタンプ、等）を常に用意しており、子どもがやりたい時にできる環境にある。また、それは常に更新しており、子どもを飽きさせずに楽しんで取り組めるよう、工夫を怠らない。

・雨天以外は、戸外に出かけ、目的地まで歩いたり、広場でルールのある遊びを行ったりして楽しんでいる。またよじ登りなど、体の部位を使った遊びが出来る環境が少ないので、ホールに様々な運動器具を置き、子ども達は、ホールを体育館のように使い楽しんで運動している。

・給食で取引のある魚屋さんが、年に一度子ども達の前で魚の解体ショーをしてくれる。大きな魚を捌く姿に子ども達は魚の生態に興味を持つと共に、「大人の仕事」にも関心

を持つようになってくる。

・保育園が入る建物の横が、広い遊歩道の公園になっており、毎月一度、地域の会社員の方々と共に清掃を行っている。大人と自分たちで力を合わせ、自分たちが歩く遊歩道がより綺麗になっていく様子を見ながら、ゴミを地球に捨てないことや、ゴミの分別や、分別されたゴミの行方などにも興味を持てる話し合いをしていく予定がある。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月17日（契約日） ～ 2021年4月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2015年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### ・職員間の情報の共有に力を入れている

担任が登園時や降園時に直接保護者に会えない場合でも伝達漏れのないように、クラス毎のボードを活用しているほか、昼ミーティングを毎日行い、各クラスの子どもの様子や特記事項について職員間で共有できるようにしている。また、クラス会議ではポイントだけを書き系統的に整理することで、クラスで興味関心があることを図示するとともに、そのプロセスも分かりやすく示され、クラスの方向性も明示できるようにしている。会議と記録の工夫により情報共有に力を入れている。

##### ・園長は新たな目で見直しを始めている

園長は今年度赴任し、新たな目で様々な見直しを始めており、事業計画については、中長期計画の項目を反映させて再計画し、職員及び保護者に通知できるように取り組んでいる。また、保育の在り方については、保育指針の子どもの自主性の尊重について、まず、保育者が主体的保育を行えるように学び合いながら、子どもの主体性を尊重した保育につながり始めている。ハザードマップや避難経路についても再度確認し、子どもの安全確保にむけて取り組んでいる。

##### ・園での活動の様子をわかりやすく保護者に伝えている

懇談会の中止や行事の規模縮小などにより、保育のねらいや保育内容を保護者に伝えたり、子どもの成長を共有できるような機会が少なくなっていることから、運動会ごっこの様子を写真と文字で掲示したり、子どもの制作物を廊下に掲示するなど、保護者に向けた園内掲示に力を入れて取り組んでいる。玄関スペースを利用して押し花など自然物を中心とした掲示もあるなど、園での活動の様子をわかりやすく伝え、保護者とのコミュニケーションづくりに力を入れている。

◇改善を求められる点

##### ・ウェブサイトの情報提供を適宜更新することを検討している

本社ホームページには各園の紹介ページがあり、概要とともにブログも掲載されているが、現在はブログの更新が行われていないことを課題としている。写真の掲載についてはプライバシーへの配慮など課題があるが、保育中の写真だけでなく手造り玩具や、保健衛生、食事など園で行われている様々な取り組みを地域や入園希望者などにむけて発信できるように、ブログを活用することを検討している。

##### ・制限のある中での地域との交流を課題としている

今年度はコロナ禍にあり、予定されていた就学に向けた年長児の交流、地域の子育て家庭との交流や絵本貸し出しなど、様々な計画が中止となっており、交流の機会が少なく

なっている。次年度にむけて計画の見直しを行うなかで、職員一人ひとりが前向きに現状を捉えており、ひとつでも多くの取り組みが実現できるようにと検討中である。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園にとりまして3回目の第三者評価を受審いたしました。  
受審するにあたり、全職員が専門分野に分かれ、一つひとつの受審項目について、長い時間をかけて振り返り話し合いまとめることにより、保育園の現在について確認することができました。その振り返りの過程の中から、改善点をそれぞれが見出すこともでき、非常に有意義な時間にもなりました。  
これからも、地域に愛される保育園を目指して、日々子どもたちの未来のために学びの気持ちを忘れずに、職員一同一丸となり、努めて参りたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり